



塩田 裕子
Yuuko Shiota

執行役員
サステナビリティ部兼ESG推進部
部長

EXECUTIVE OFFICER
GENERAL MANAGER
SUSTAINABILITY DEPARTMENT
ESG PROMOTION DEPARTMENT

略歴

1997年津田塾大学 国際関係学部卒

1997年／丸井グループ入社

1999年／（株）丸井 営業企画部にてプレス担当

2004年／（株）エイムクリエイツ MDディレクション担当

2005年／（株）丸井で商品企画・販売企画を担当

2006年／（株）丸井 ニーズマーケティング部

2013年／（株）丸井 川崎店統括マネジャー 店次長

2014年／（株）丸井 博多ニーズマーケティング課長にて博多マルイの店づくりを担当

2016年／（株）丸井グループ CSR推進部課長のちESG推進部/サステナビリティ部 課長

2019年／（株）丸井グループ 新規事業 〈現株OKOS〉にてサステナブルブランドKESOUローンチ

2022年／（株）丸井グループ サステナビリティ部長、ESG推進部長（現任）

2023年／（株）丸井グループ 執行役員（現任）

創 業 : 1931年 家具の月賦商として創業(創業94年)

事業内容 : 小売・金融一体の独自のビジネスモデルを展開

小 売

マルイ・モディ



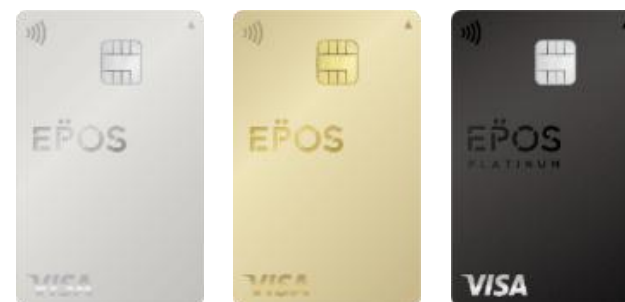
関東を中心に、東海・関西・九州に22店舗

取扱高 3,244億円

年間入店客数 1億9,000万人

フィンテック

エポスカード

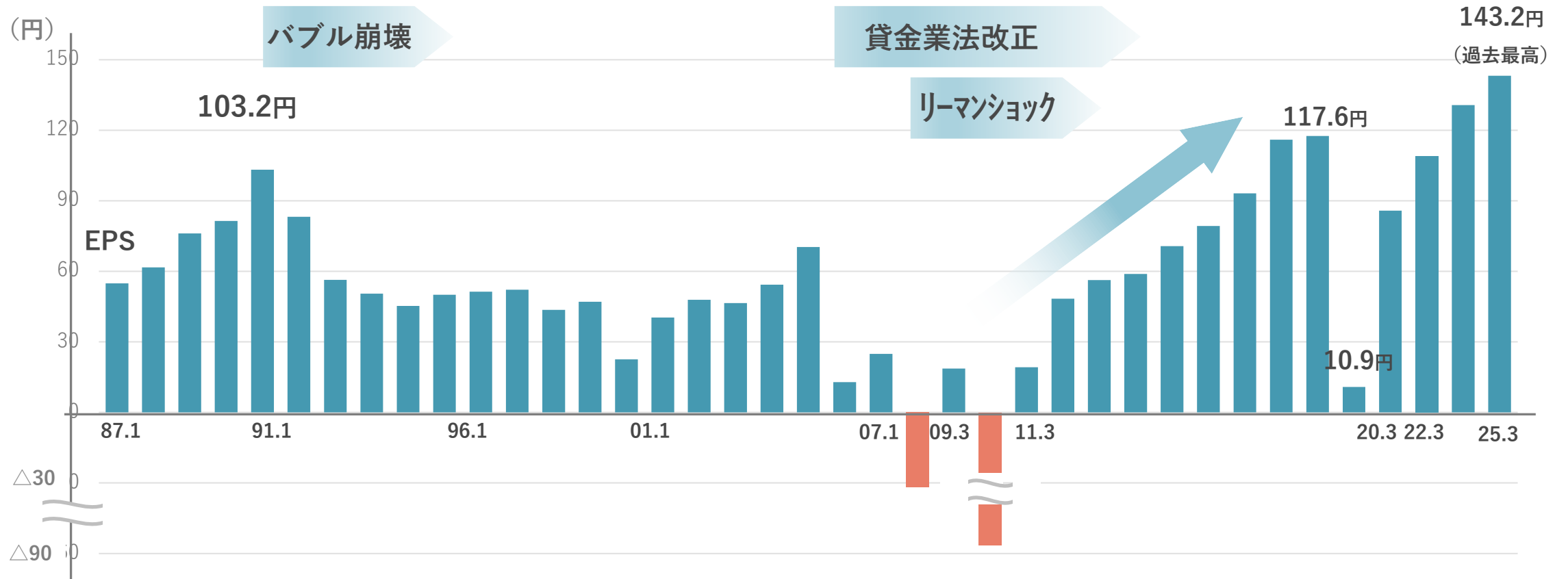


カード会員数790万人

取扱高 4兆6,806億円

2度の赤字を乗り越え、20年3月期に過去最高の117.6円、25年3月期も過去最高を更新

■EPSの実績



「お客さまのお役に立つために進化し続ける」

「人の成長 = 企業の成長」

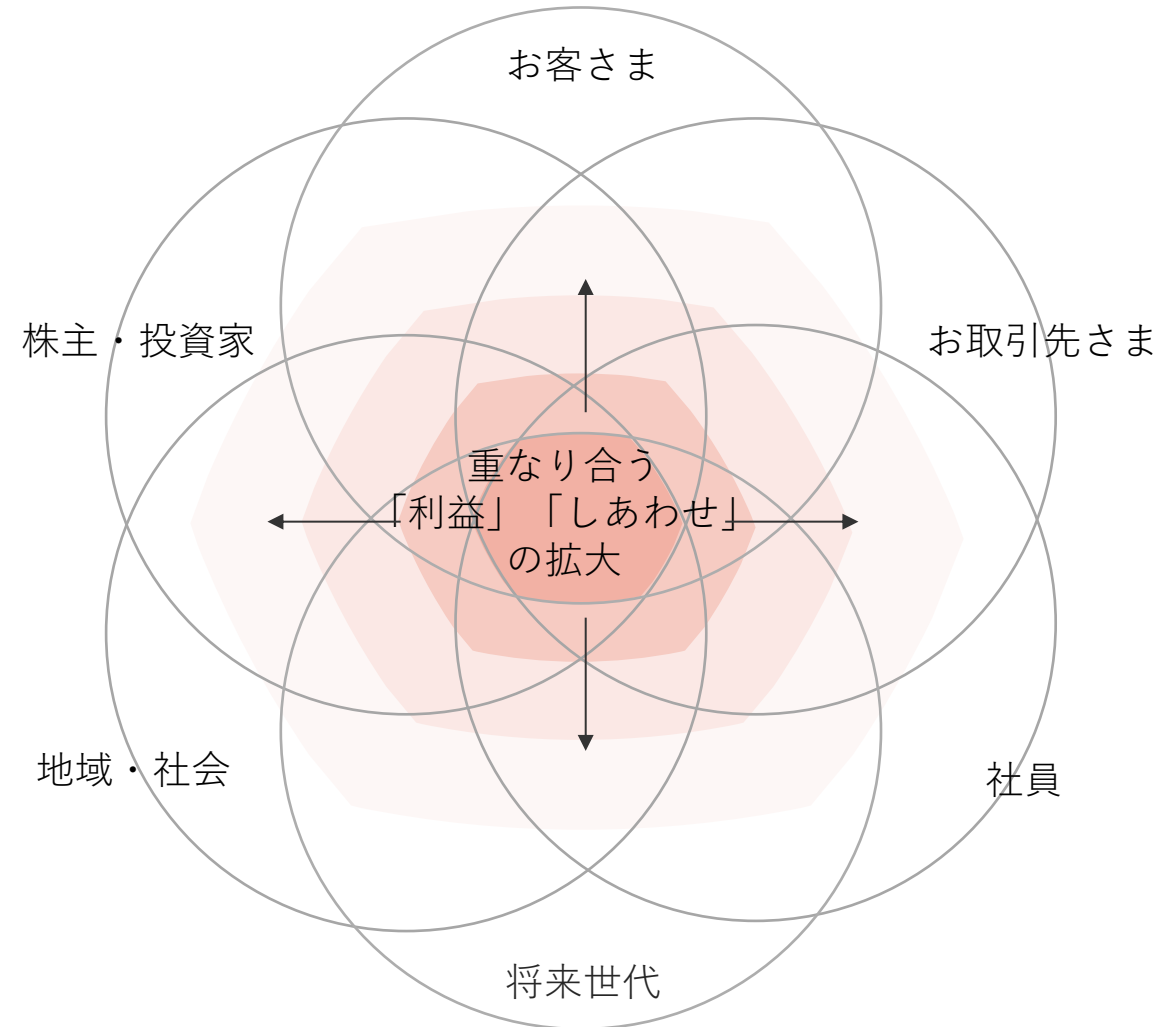
すべての人が「しあわせ」を感じられる
インクルーシブな社会を共に創る





共創 = お客様さまと共に創る

『信用は私たちがお客様さまに与えるものではなく、お客様さまと共に創るもの』
(創業者：青井忠治)



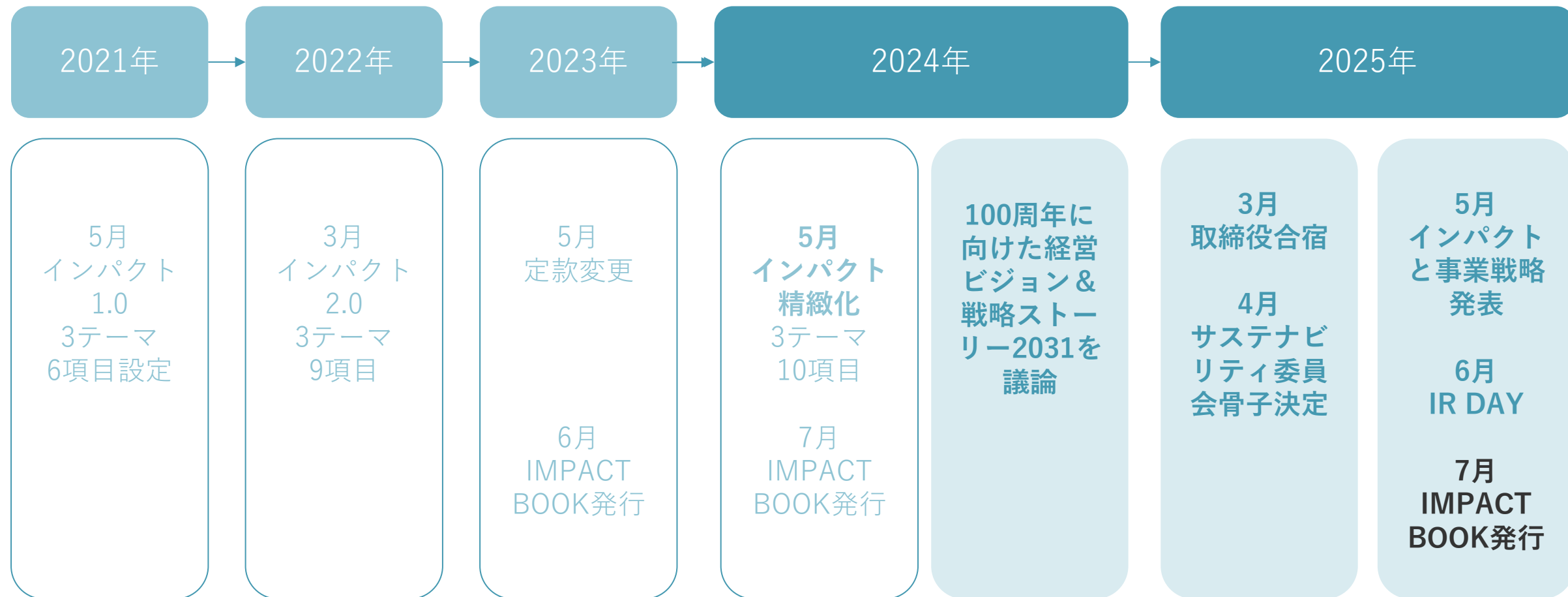


VISION 2050

インパクトと利益の二項対立を乗り越える

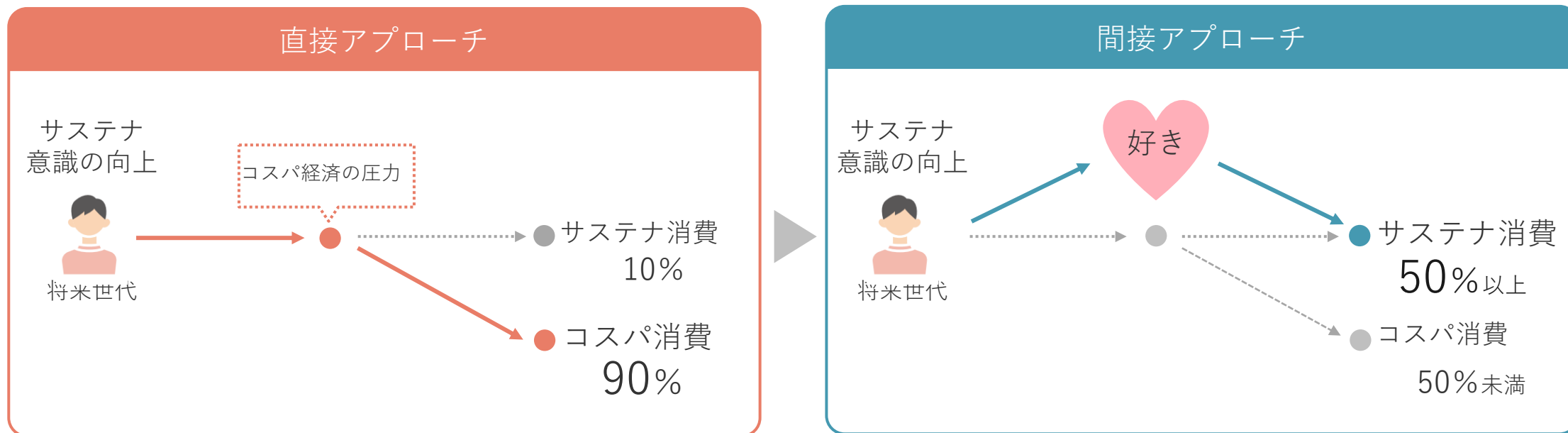
2025年までの振り返り

グループ経営の進化とともに精緻化。2031年新たな経営ビジョンに基づき、アップデート



「好き」ドリブンによるインパクトの創出

「好き」を入り口にした消費を通じて、サステナ消費を高める「直接アプローチ」から「間接アプローチ」へ



「あとからサステナ」「気づいたらサステナ」の新たな回路をつくり
一部の意識高い人々ではなく、より多くの人々の行動変容へつなげる

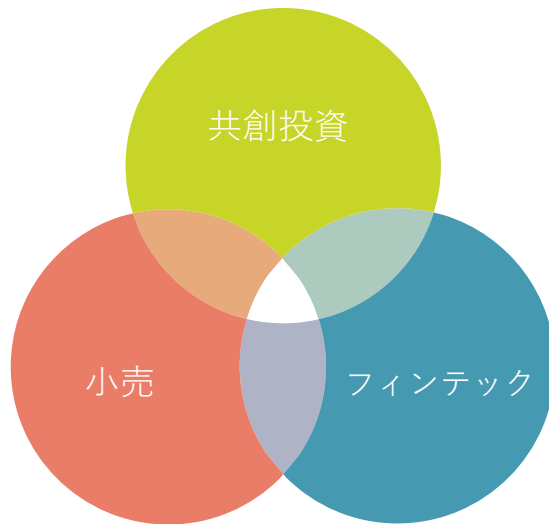
3テーマ 6項目 10KPI

テーマ・重点項目		2031年 KPI	
将来世代の未来を共に創る	脱炭素社会の実現	自社と社会と個人のCO2削減量	100万t以上
	将来世代の「事業創出」を応援	将来世代の事業創出支援数 (ソーシャル・イントラプレナー)	5,000件以上
一人ひとりの「好き」が駆動する経済を創る	「好き」を通じて誰かのため、社会のためへと広がる消費	「好き」を通じて社会とつながる金融サービス利用者数	100万人以上
		「好き」を通じて社会とつながる金融サービス数	100件以上
	「好き」を応援する ファイナンシャル・エンパワーメント	若者・外国人等の金融サービス利用者数	1,000万人
		多様な働き方を応援する金融サービス数	10件以上
働く人の「フロー」を生み出す社会を創る	社内外に開かれた共創の場	世界中の優れた人材との共創の場の数	500回以上
		共創の場を通じた新たな事業の創出数	20件
	創造性を発揮する人・働き方	フローに入りやすい状態にある社員比率	60%
		自分の「好き」を仕事に活かしている社員比率	75%

フィンテックを中心にした「好き」を応援するビジネスを通じて、「インパクト」と「利益」の両立をめざす

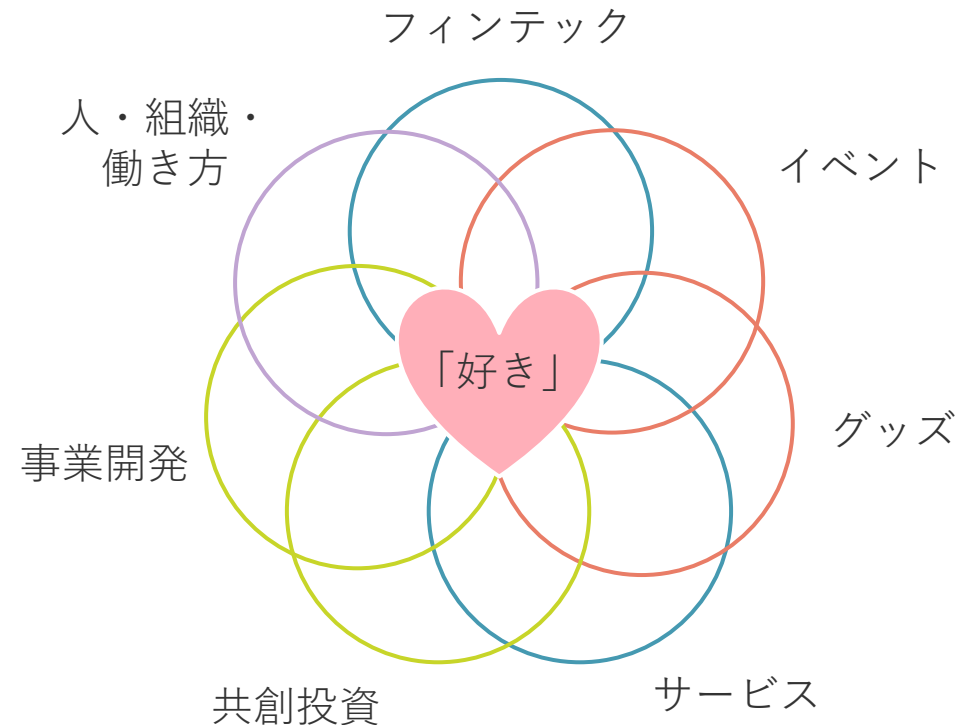
これまで

小売×フィンテック×共創投資



これから

「好き」を応援するビジネス



	テーマ・重点項目	31.3財務価値
将来世代の未来を共に創る	将来世代の「事業創出」を応援	取扱高 100億以上 (累計)
一人ひとりの「好き」が 駆動する経済を創る	「好き」を通じて誰かのため、 社会のためへと広がる消費	取扱高 3,000億円以上
	「好き」を応援する ファイナンシャル・エンパワーメント	取扱高 5.7兆円以上
働く人の「フロー」を 生み出す社会を創る	社内外に開かれた共創の場	共創投資貢献利益 70億円
	創造性を発揮する人・働き方	無形資産比率 70%以上

インパクト財務価値目標

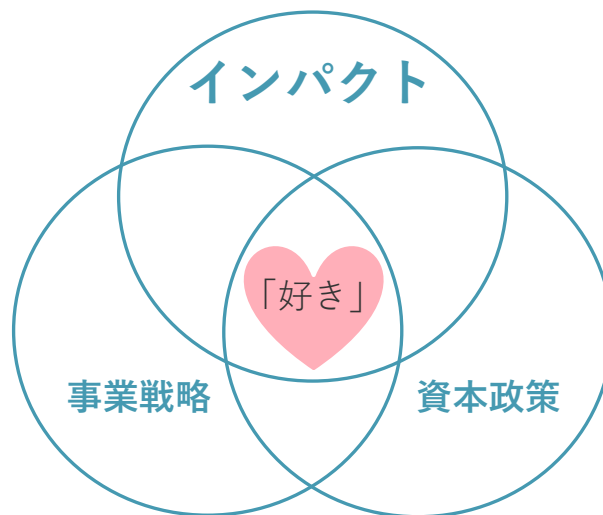
取扱高 **6兆円**以上

2031年グループ取扱高
10兆円へ寄与

2031年経営ビジョン

「好き」が駆動する経済

事業戦略とインパクトの一体化



$$\begin{array}{ccc} \text{PBR} & = & \text{ROE} \times \text{PER} \\ 3\sim 4\text{倍} & & 15\%以上 \quad 25\text{倍以上} \end{array}$$

高成長・高還元を目指す

「好き」が駆動する経済へ

P.52 参考資料

矢野経済研究所「キャラクタービジネスに関する調査」、(株)クロス・マーケティング「日本ペットフード協会の統計資料」、アニコムホールディングス(株)「2022最新版 ペットにかかる年間支出調査」、公益財団法人日本生産性本部「レジャー白書2024」、経済産業省「第7回エンタメ・クリエイティブ産業政策研究会 事務局資料」、「令和5年度電子商取引に関する市場調査」、国土交通省「インバウンド消費動向調査」、内閣府「国民経済計算 / 四半期別GDP速報」、日本政府観光局「訪日外客統計」に基づき当社試算

本資料に掲載しております将来の予測に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。お問い合わせは、I R部 marui-ir@0101.co.jpにご連絡ください。